

## 福岡農業高校と西日本鉄道株式会社共同開発「太宰府梅サイダー」完成報告会・寄付金寄贈



10月23日、福岡農業高校食品科学科梅研究班と西日本鉄道株式会社が共同開発した「太宰府梅サイダー」が本年も完成し、報告会および寄付金寄贈式が行われました。

「太宰府梅サイダー」は、梅と氷砂糖だけを使ったシロップの味を生かした、すっきりとした味わいが特徴です。8月1日から販売が開始されていますが、すでに3分の2が売れている大人気商品です。

また、同研究班は、農山漁村のポテンシャルを引き出し地域の活性化などに取り組む事例を選定する「第5回ディスカバー農山漁村の宝」（農林水産省）に選ばれました。本市の観光振興や地域循環型プロジェクトへ貢献している点などが評価されました。



## 環境フェスタ in 太宰府「まほろばのもりR1」

10月27日、令和となって初の環境フェスタを開催しました。ごみ減量やリサイクル、身近な「いきもの」について学べるブースなどが出展し、環境について考えるきっかけとなりました。

さらに、本年は新たな見どころが増えました。初めて設けたステージでは、ごみ処理施設職員によるトークショーやごみ分別クイズなどを行い、皆で楽しく環境について学びました。家庭で余っている食品を捨てずに持ち寄ってもらい、交換などを行うフードドライブコーナーでは、最終的に集まった食品をこども食堂に寄付しました。



ごみ分別クイズに挑戦する親子

## 特別職員研修

### 「LGBTは『いない』のではなく、『見えていない』だけ～渋谷区の取り組み～」



永田龍太郎さん

国内初の同性パートナーシップ条例を制定した渋谷区の職員・永田龍太郎（ながた りゅうたろう）さんを迎え、LGBTに関する職員研修を11月5日に行いました。

渋谷区では、「ダイバーシティ（多様性）」と「インクルージョン（包摂、包括）」をキーワードに、違いが未来を動かす力になるという姿勢をまちづくりに取り入れています。講演では、「見えにくいがい」としてLGBTを取り巻く人権課題について掘り下げ、渋谷区での取り組みや自治体職員に求められる対応などについてお話いただきました。

永田さんは、性的少数者は日常生活で“想定外”の扱いを受けることが多いとし、「想像力が組織を変える。まずは自分と違う人が『いる』前提でさまざまなことに気付いてほしい」と述べました。さらに、「『見えていない』人を可視化するには地域社会が変わらなければならない。そのためにLGBTが生きづらくない社会を願う“アライ（Ally：支援者・味方）”を増やすこと、人権啓発を行政として進めるべき」だと呼びかけました。

九州国立博物館 館長

しまたに ひろ ゆき  
島谷 弘幸 氏



新元号の令和に明け暮れた太宰府でしたが、師走に一言。十二月を「しわす（師走）」と呼びますが、この言葉は何と、大伴旅人の梅花宴で紀小鹿女（きこしかの）が詠んだ梅の歌1首に「十二月尔者」と使われており、『万葉集』の時代にはすでにあったのです。改めて、太宰府の文化度の高さに驚かされます。それはともかく、皆さんの一年の計はどれくらい達成されたでしょうか。私が目標とした「和顔愛語」は50点程度でしょう。九州国立博物館も「学校よりも面白く、教科書よりも分かり易い」を掲げていますが、まだまだ道半ばです。

現在好評開催中の「三国志展」（～1月5日）は、東京国立博物館では30万を超える方が来館されました。私が東博に勤務していたときに担当した台湾の故宮展も、東博から九博への巡回展でした。そうしたご縁で九博に着任して5年になります。地元の皆さんの御来館をお待ちしています。

今年は、さらに楽しめる憩いの場を作りたいと思い、従来の紅枝垂れ桜250本に加えて、秋に醍醐寺の桜の植樹が実現できました。来春をお楽しみに。

## 新元号「令和」記念『時の旅人プロジェクト』記念モニュメント完成！

新元号「令和」とのご縁をいただいた慶びを多くの皆さんと共有すべく、本市では「新元号「令和」記念『時の旅人プロジェクト』～時空を超えて1300年～」を練り上げました。

11月4日、大宰府政庁跡で記念モニュメントの除幕式を行いました。式典には製作関係者やプロジェクトへの寄付者など、市内外から約260人が参加しました。除幕後には、多くの皆さんが写真を撮ったり自分の名前を探したりする姿が見られました。

モニュメントは1300年後にも残るよう、優れた耐久性を持つチタン素材で製作し、大宰府展示館横の屋外に設置しています。表面には「令和」の典拠である梅花の歌32首序文が、裏面には寄付いただいた皆さんのお名前が刻まれています。



©株式会社産業新聞社/写真撮影：苑田容生



寄付者のお名前を刻銘したモニュメントの裏面

## 特集

私のだざいふ ……………2

市政ニュース ……………2～4

令和元年度  
太宰府市功労・善行表彰式 ……………5

まちのトピックス ……………6

12月は「STOP滞納!!  
県下一斉徴収強化月間」です ……7  
〈納税課〉

12月3日～9日は  
「障がい者週間」です …… 8～9  
〈福祉課〉

12月4日～10日は「人権週間」です  
……………10  
〈人権政策課〉

市からのお知らせ ……11～14

まほろば号でお・で・か・け♪ ……15  
〈地域コミュニティ課〉

連載 ……………16～23

なんでも情報コーナー ……24～33

年末年始施設等休みのお知らせ  
……………30～31

ごみ収集休みのお知らせ ……30

コミュニティバス「まほろば号」  
年末年始、1～3月の運行変更の  
お知らせ ……………30

太宰府の文化財 ……………34  
〈文化財課〉

## ふるさと大使 令和となって初の友好都市訪問！（10月9日～11日）

「だざいふ・ふるさと学習」（郷土学習）の総まとめとして、市内中学校3年生8人を「ふるさと大使」として友好都市多賀城市へ派遣する「ふるさと・夢プロジェクト」事業を実施しました。東日本大震災の被災や復興についての学習や、多賀城市の中学生との交流など、充実した3日間となりました。

### <震災についての学習をとおして>

- ・普段の避難訓練をもっと大切にし、地震や津波などを他人事とは思わず常に危険な場所など確認しようと思いました。（学業院中：江口愛菜美さん）
- ・津波による被害の大きさというものを学び、日ごろから震災の対策をしようと思いました。（太宰府中：杉本八海さん）
- ・想像以上の恐ろしさ、言葉にならないほどの恐ろしさは一生忘れません。（太宰府西中：赤尾賢星さん）
- ・実際に被災地で津波の脅威や復興を見てきました。震災から学び、今できることを皆で考えて取り組みたいです。（太宰府東中：久保良雅さん）



震災の学習のようす



### <現地中学生との交流をとおして>

- ・多賀城中学校の皆さんは、みんな笑顔が輝いていました。半日しか交流できませんでしたが、とても楽しかったです。（学業院中：佐々木柊太さん）
- ・多賀城のよさと太宰府のよさを交流することができました。また、全校生徒に歓迎されてとてもうれしかったです。（太宰府中：米湊咲希さん）
- ・多賀城中学校の皆さんはとても優しくすぐに仲良くなることができました。とても良い経験になりました。（太宰府西中：萩原琴菜さん）
- ・多賀城市と太宰府市の歴史の共通点などを見つけることができました。またあたたかい雰囲気を楽しかったです。（太宰府東中：富田麻南さん）



市内見学のようす



現地中学生との交流のようす

大使たちは各学校の報告会で、現地で学んだことを全校生徒に伝えます。

## 多賀城市からも中学生がやってきました！



10月25日～27日の3日間、友好都市多賀城市からも、中学生8人が本市にやってきて、中学生との交流や、歴史や文化などを学ぶ事業を実施されました。

25日には、太宰府中学校の生徒たちと全校集会や授業で交流したのち、市役所で歓迎式が行われました。

多賀城市の皆さんは、多賀城市に戻った後、各学校で今回学んだことなどの報告を行います。



みんなで梅ヶ枝餅を作りました



多賀城市について紹介してくれました